



スズキ パレット パレットSW

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。

0645/0646

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何らかの支障があった場合は、お買上げ頂いた販売店、または当社までご連絡ください。事前に連絡がなく装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。またお客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。
- 本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取付けをおこなうことで生地が伸びシワは解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように製造されていますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。
- 万が一ご注文された商品と違う、不良品、配送中の破損等、ございましたらご連絡ください。速やかに商品を交換もしくは修理対応させていただきます。
※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間を頂く事があります。
- 箱の多少の破損、商品の細かい傷、シワ等は不具合対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。

警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応の縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。また、シートカバーを正しく取付けないと衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及び、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。
※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色の原因となります。また、高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着されてから約1～2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用していますので、燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 当社のシートカバーはフィッティングを重視して製造しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けたり、切れる恐れがありますのでご注意ください。
- シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECTクラッツィオ・アルカンターラセレクト)の背もたれ上部に加工されているヘッドレストの穴は生地が伸びにくいいため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着して頂くと、作業がスムーズに進みますので、当社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らな広いスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態(扉を開放されたまま)にされると、バッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- フィッティング性を重視した当社のシートカバーを取付けた後、元に戻した際(シートカバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承ください。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をお掛けしますが当社までお問い合わせください。
- 当社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように製造していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。予めご了承ください。
- 取り付け時(シート本体のパーツを取り外す場合等)及び、使用時におきた車輛への損傷、車輛の不具合、人体への怪我(シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります)について、当社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、取付けを行ってください。
またいかなる場合でも商品代金、送料を保証の上限とし、それ以外の保証はできませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換取付け、取付け取り外し等の工賃、取付け等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負わないものとします。

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属していません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地のはりを利用して横からもぐりこまずように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせてながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。
(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができれば、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

1 列目座面



- ①最初にシートリフターのレバーを取り外します。
(フタを外して、ネジ2本を
プラスドライバーで外します。)



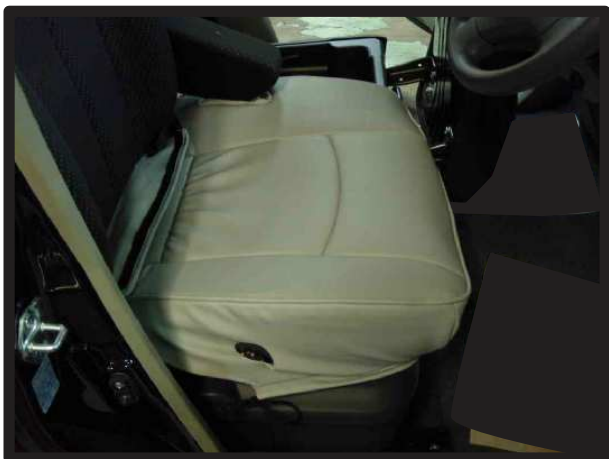
- ④背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- ②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



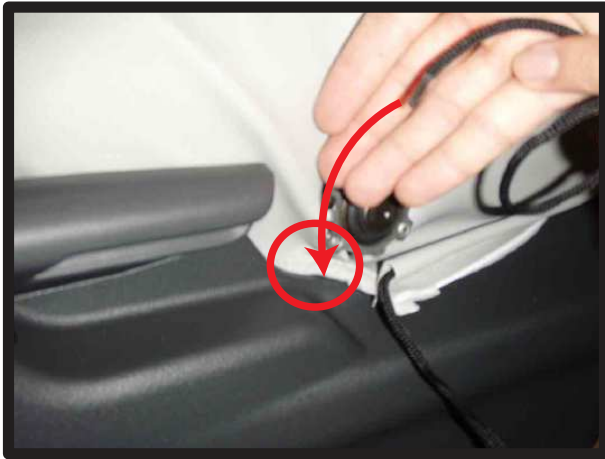
- ⑤シートベルトの穴とカバーの穴位置を合わせて、生地を中に入れ込みます。



- ③ラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。



- ⑥側面にあるカバーの穴から、シートリフター取り付け部分を抜き出します。



⑦カバー側面のヒモを、シートとプラスチックカバーの間に入れ込みます。
(シートリフター取り付け部分のすぐ後の辺りから入れ込みます。)



⑩左右のヒモを座面裏で結びます。
片側のヒモで輪を作ります。



⑧ヒモは、プラスチックカバーの中を通して、下に引き出してから、背面に持っていきます。



⑪作った輪の中にもう片方のヒモを通して結びます。
(結ぶ前に適度な力でヒモを引き絞ります。)
※引っ張り過ぎにご注意ください。



⑨カバーをプラスチックカバーの中に入れ込みます。



⑫ページ1の④で入れたカバーを背面から引き出して、マジックテープで固定します。

1 列目座面の続き



⑬窓側のマジックテープの固定は、プラスチックカバーを少し浮かせた状態でシートに取り付けます。



⑭助手席側の座面は、シートを持ち上げた状態で作業を行います。カバーをかぶせる前にストラップをカバーの穴から抜き出します。



⑮内側はマジックテープどうしを固定します。



⑯シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



⑰表面を整えて、運転席側の座面取り付けは完成です。



⑱運転席と同じ要領で、ヒモを結びます。

1 列目背もたれ



⑱結んだヒモは、カバーの中に入れて込んで下さい。



①最初にアームレストを外します。
プラスチックカバーを外します。



⑳表面を整えて、助手席側の完成です。



②ソケットレンチを使用してボルトを外します。



③アームレストを外した状態です。

1 列目背もたれ続き



④ヘッドレストを外します。背もたれカバーを半分ほど裏返してシートにかぶせます。ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



⑦矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



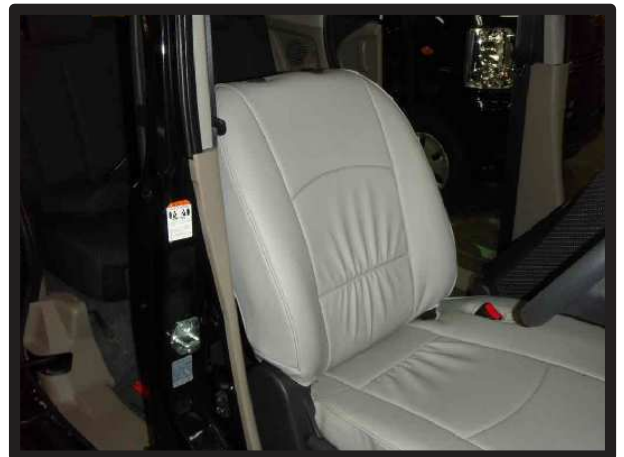
⑤ヘッドレストの台座部分を取り出します。生地伸びを利用して横からカバーをもぐり込ませるようにして台座部分を取り出します。



⑧ページ5の⑥で入れ込んだ部分と、背面生地をマジックテープで固定します。



⑥折り返していた半部分を左右均等に下まで引き下げ、背もたれと座面の隙間にカバーを入れ込みます。



⑨表面を整えて、背もたれの完成です。(助手席も同じ手順です。)

2列目座面



①シートラインに合わせて、カバーをかぶせます。



④カバー後ろ側に付いているヒモは、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



②背もたれと座面の隙間にカバーを入れ込みます。



⑤背面からヒモを抜き出します。



③側面部分のカバーは、プラスチックカバーとシート本体の間に、生地を入れ込みます。



⑥シートを、写真のような状態にしておきます。

2列目座面の続き



⑦引き出したヒモをカバー後ろ側に付いているヒモ通しに入れます。



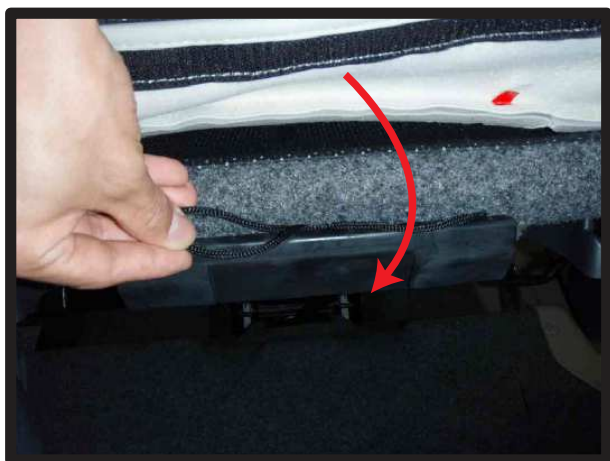
⑩マジックテープを、固定した状態の写真です。



⑧左右のヒモを1列目座面と同じ要領で結びます。

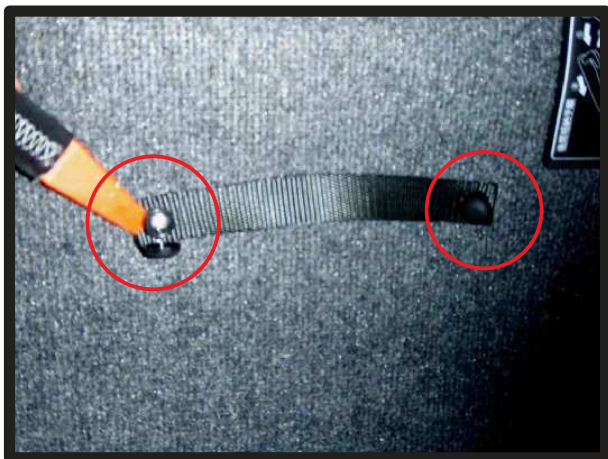


⑪表面を整えて、座面カバーの取り付け完成です。



⑨ヒモを覆い隠すように、マジックテープを固定します。

2列目背もたれ



①背もたれ背面にあるベルトを取り外します。
ネジが隠れていますので、ヘラ等で隙間に差し込んでネジのキャップを開き、ネジを外します。



②ベルトを取り外した状態です。



④マジックテープ部分を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



⑤ページ8の④で入れ込んだ部分を、背もたれ背面に引き出し、背面のマジックテープで固定します。



③1列目の背もたれと同じ要領で、カバーをかぶせていきます。

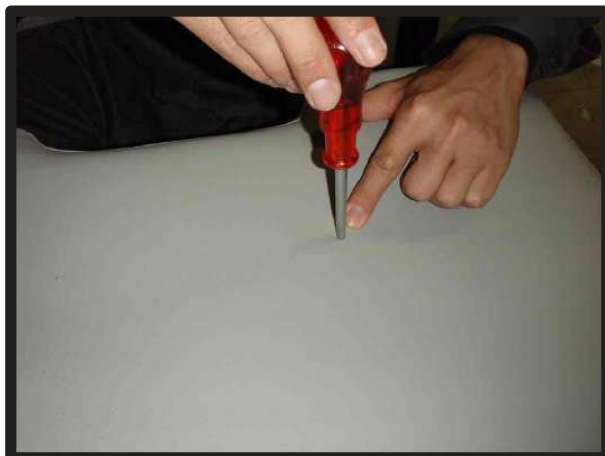


⑥肩口のレバー部分は、ネジを緩めてレバーをシートから外します。

2列目背もたれ続き



⑦カバーをレバーとシートの間に入れ込み、外したネジを元に戻して下さい。



⑩先端の尖ったものを使用して、穴を開けます。



⑧背もたれ背面下部にあるレバーをカバーの穴から抜き出します。



⑪ベルトを元に戻した状態です。



⑨取り外したベルトを、取り付ける為に、カバーに穴を開けます。まずは、穴位置をよく確認します。



⑫表面を整えて、2列目背もたれの完成です。
(助手席側も同じ手順です。)

ヘッドレスト



①カバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。カバーを半分ほど折り返してからかぶせて下さい。



④平らなプラスチック側を生地とともにフック側に入れ込みます。



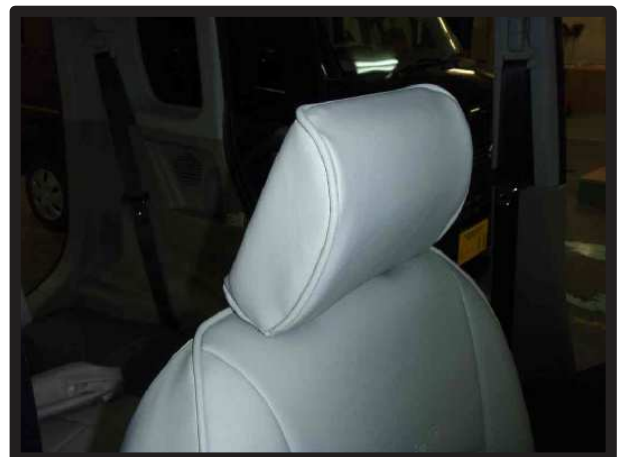
②左右均等に下まで下げていきます。
○の部分は力がかかり過ぎると破れる恐れがありますので、作業は慎重に行ってください。



⑤固定した状態です。



③ヘッドレストを背もたれから取り外して、底面のカバーをかぶせます。プラスチックフックで固定します。



⑥ヘッドレストを、背もたれに取り付けて、表面を整えて完成です。2列目も同じ要領で取り付けます。

アームレスト



①カバーを半分ほど折り返し、アームレスト本体にカバーをかぶせます。前側からラインに合わせて、しっかりかぶせます。



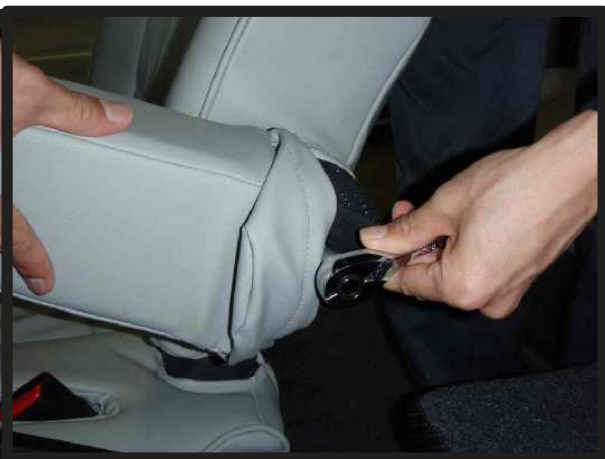
④取り外したプラスチックカバーは、忘れずに取り付けてください。



②折り返していた半分を、左右均等に後ろまでかぶせます。



⑤ジッパーを閉じます。



③ソケットレンチを使用して、元的位置に取り付けます。

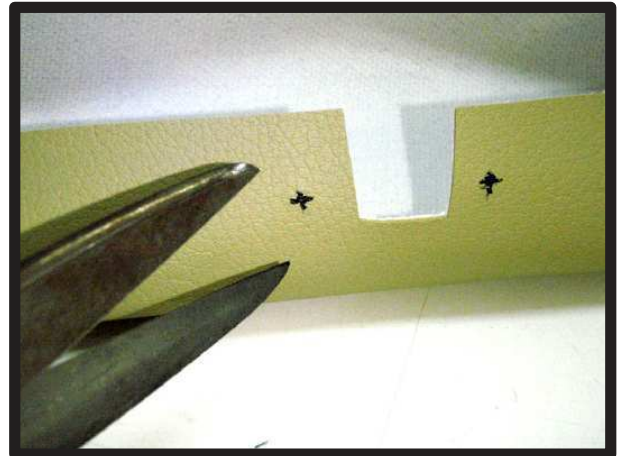


⑥表面を整えて、アームレストの完成です。

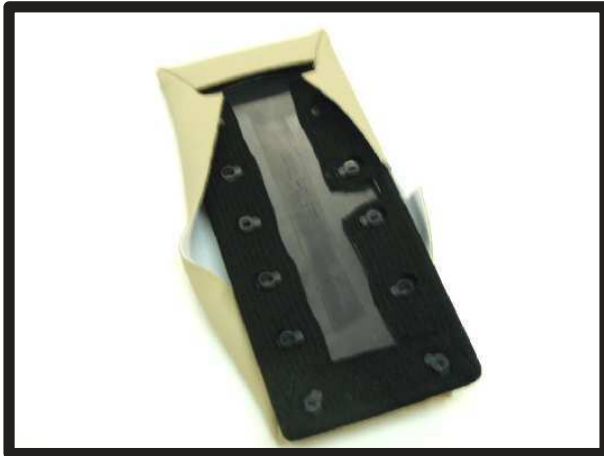
ボックス付きアームレスト



- ①ボックスをアームレストから外します。
フタの中にあるネジを外し、ボックスを取り外します。
フタ部分もネジを外します。



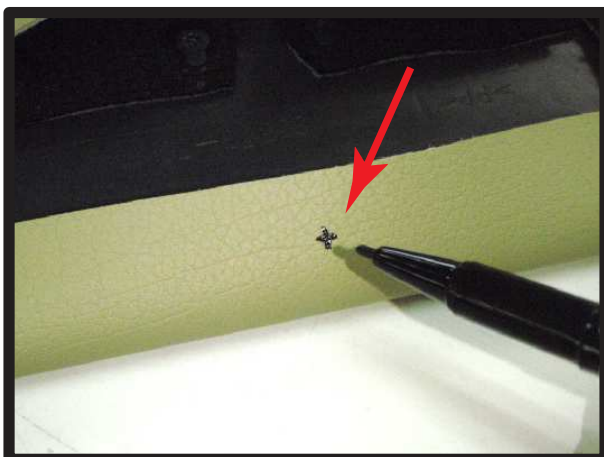
- ④カバーを外し、印を付けた部分の生地
に切れ込みを入れます。
アームレストに傷を付けないように、
カバーは外して作業を行って下さい。



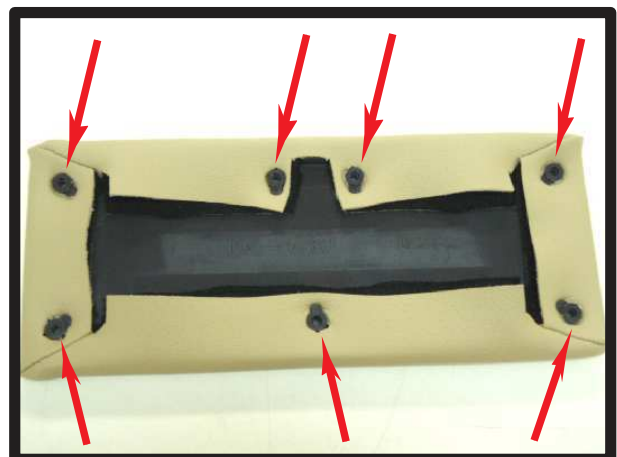
- ②フタにカバーをかぶせます。
切り込み部分をフタの生地に合わせ
ます。



- ⑤もう一度カバーをかぶせてネジ穴部
分を生地から取り出します。



- ③ネジ穴に合わせて生地に印を付けま
す。



- ⑥ネジ穴を生地から取り出した状態
です。

ボックス付きアームレスト続き



⑦ボックスにフタを取り付けます。



⑩ボックスの中にあるネジを固定します。
アームレストを車体に戻して完成です。



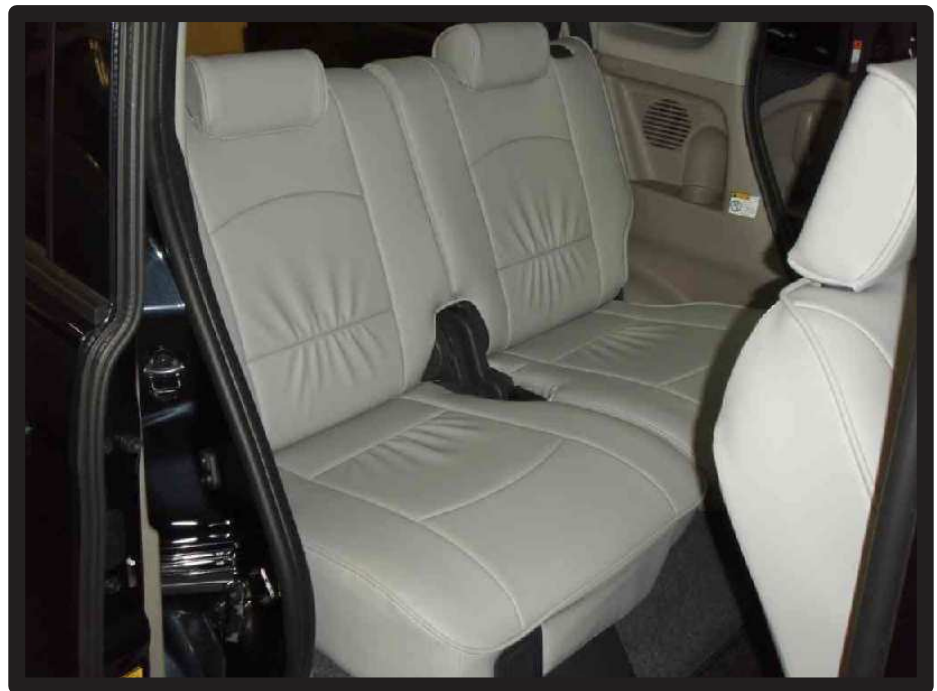
⑧ボックスが入っていた穴に生地を入れ込みます。



⑨ボックスをアームレストに戻します。
ボックスの前部分からアームレスト
本体に入れ込みます。
ボックス内部のネジで固定します。 —13—



1 列目装着例
※アームレストボックス無しタイプ



2 列目装着例



After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 1年間保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。

クラッツィオ キルティングタイプ・プロス クラッツィオ
プロスクラッツィオ タイプ2は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。

(巾135cm・メートル単位での販売となります)
クラッツィオ キルティングタイプは対象外です。



パーツ交換の際、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…→ 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

アルカンターラ・スエード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケツブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケツブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革パンチング・ECTの本革部分

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。
または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。
クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。
万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐにふき取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



Elazzio

SEAT COVER

クラッツィオ商品について詳しくは、ホームページをご覧ください。

www.11i.co.jp



「快適カーライフ空間創造企業」

ELEVEN
INTERNATIONAL

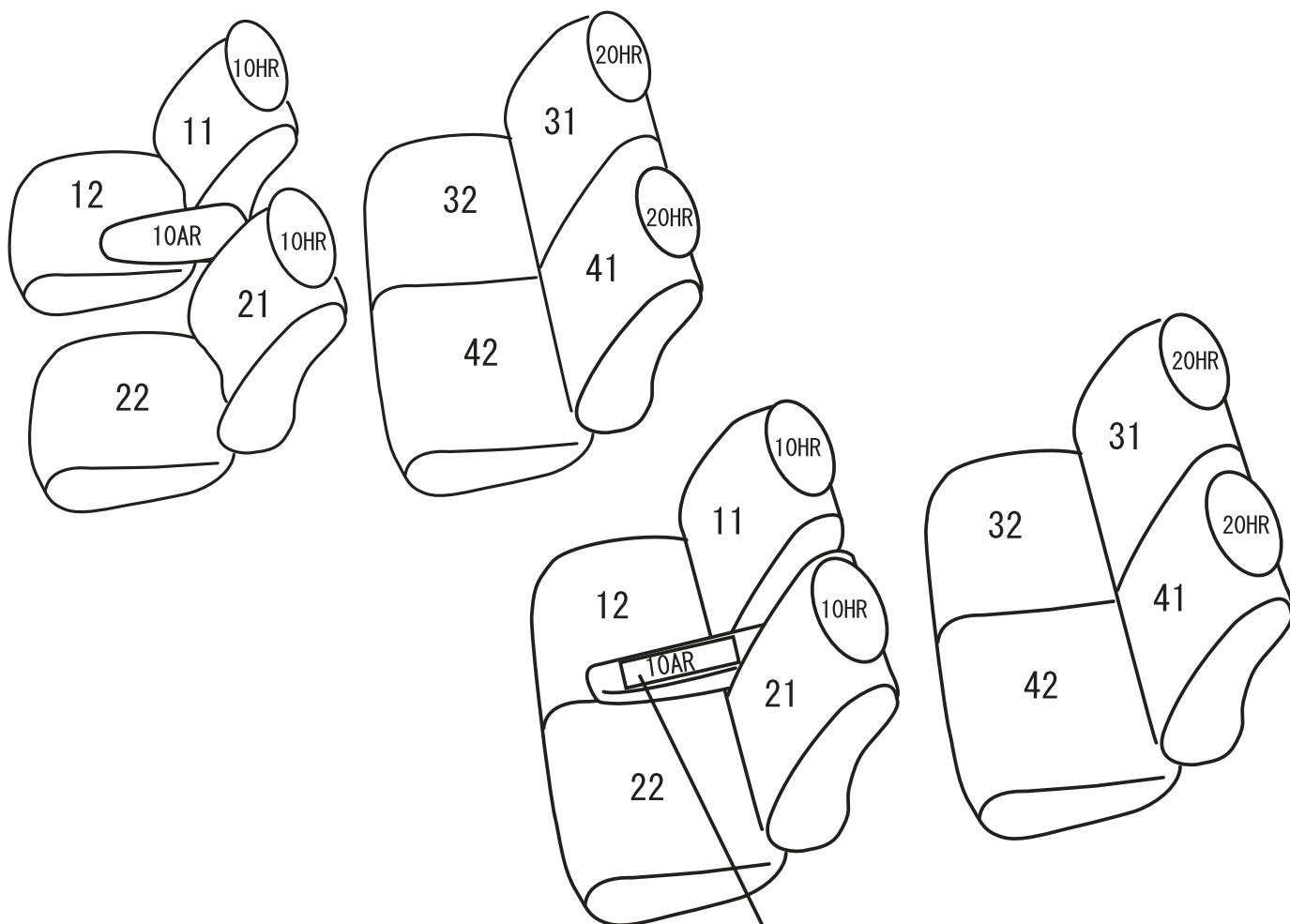
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

FAX.072-330-8816

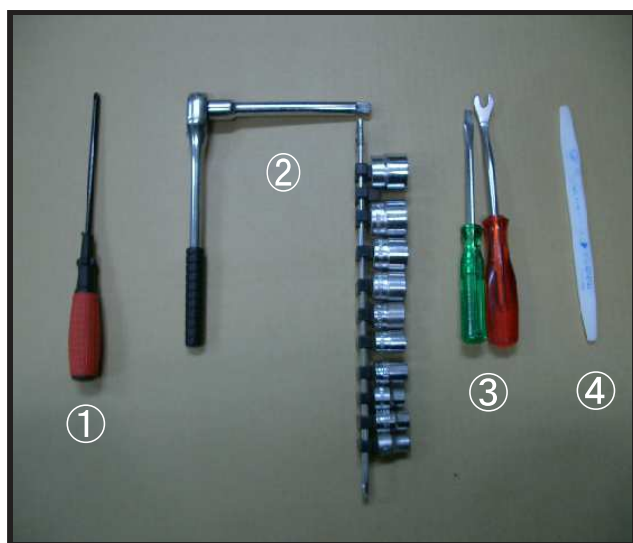
本製品シート形状とパーツの名称



別パーツあり

※1列目アームレストボックス付き

取り付け必要工具



工具名

- ① 十字ドライバー
- ② ソケットレンチセット
- ③ 一字ドライバーまたは内張り外し
- ④ ヘラ（無くても可）